

第3回公害対策審議会 意見と回答一覧

番号	委員名	指摘内容	意見	回答
①	藤原 委員	汚濁解析について	モデルのパラメーター次第で、計算結果は大きく変化する。計算結果と実測値がきちんと合っていることが、そのモデルを使った将来予測の前提になるので、現況の実測値とモデル計算結果が整合しているかどうかということについては重要である。次回の審議会で、モデルによる計算結果と実測値との比較結果を資料で示していただけたら、委員の皆さんも安心していただけると思う。	審議会で直接日水コンよりご説明します。
②	藤原 委員	進行管理について	やはり5年ごとに見直しをしていくというのであれば、今回作成する資料においても、5年後と15年後の目標の数字に加えて、10年後である令和14年度目標数値も示しておいた方がいいと思う。そうしたら10年後のPDCAを回す時にも、目標値と実績値を比べる形で評価できると思う。単純に計算すればすぐ出てくる値だと思うので、それを追加した形で資料をまとめた方が、この後のPDCAの観点で整合していいと思うがいかがか。	34ページ 10年後(R14)の汚濁負荷量を追加しました。
③	藤原 委員	脱炭素の目標について	目標によって、定量的な目標が立てやすい項目と、それが難しいので、定性的目標になるものそれぞれあるというのは当然理解できる。しかし、定性的な目標であったとしても、下水道事業、浄化槽事業について、令和9年度末、令和14年度、令和19年度末にどのような状況を目指すかを明確にしておくことで、振り返りの進捗管理においてきちんとした議論ができるようになると思うので、定性的な目標であっても、なんらか記載をしておいてはどうかと思う。	環境配慮型合併処理浄化槽に転換することを促進することが脱炭素の目標と考えています。
④	西森 委員	用語の定義	一般の方が見たらどう見えるかという視点でいうと、様々な用語が出てくるが、例えば、「汚水処理人口普及率」、「下水道処理人口普及率」、「生活排水処理率」など言葉が違うので意味は違うのだろうと思うが、正確な中身はわからない。想像で補って読み進めるということになっている。どこかで用語の定義をきちんとしていただきたい。	末尾に用語集を追加しました。 重要な用語に関しては各用語の下にコラムのようにまとめました。

番号	委員名	指摘内容	意見	回答
⑤	内田 委員	表記 について	<p>これがパブリックコメントに出された時に、果たしてどのくらいの人がこれに対して、まず、読んで理解できるのか、それからそれに対して質問ができるのかということに、すごく疑問を持った。</p> <p>例えば、計画書の 33 ページの 3 行目。「家畜排水」、「面源系」という言葉もよくわからないなと思い調べて、こういうことなのだというのがわかったが、この文章だけでは、何かわからないなみたいな感じで読み進めてしまうところがたくさんある。基準値という言葉に関しては、表の中で書かれているのと、その文章の中で書かれているのが違ったりする。例えば、何とか何とか基準値というのが、ただ基準値という表記だったりする。文書と表を見比べるときに、これは一体どれだろうというのも、すごく探さないといけないので、基本的に言葉を合わせていただきたい。</p>	④に同じです
⑥	西村 委員	同上	<p>令和と西暦で表記している部分があって、合わせるか、わかりづらい箇所は併記するなどすれば、自分で計算せずに読みやすいと思う。</p>	令和と西暦の両方を表記するようにしました。
⑦	須内 委員	湾口の環境基準点について	<p>湾口の 113, 114 ですけれども、桂浜の堤防も延伸して、その南側の南第 1 堤防という、大きな堤防もすごく今延伸している。さらに高知新港の東に三つぐらい、大きな堤防ができて、これは高知新港に豪華客船とか来た時の制水性、波が高くなるのを抑えるために堤防がどんどん増えてきていて、そういう状況の中で、この 2 地点は、湾内のような状態になってきている。湾口ということで環境基準は A だが、現状は、B 類型が妥当ではないかということで前回お話をさせていただいた。それなのに、外洋の影響を受けてという回答ですけれども、外洋の COD は多分 1.0 とか、大分低い数値だと思う。状況としては湾内に近い形になっているので、その辺の表現をもう少し検討していただきたいと思う。</p>	外洋の影響を受けてとの文言を削除しました。
⑧	藤原 委員	同上	<p>環境基準点の話は、県の環境審議会との兼ね合いもあると思いますので、県の環境対策課と状況共有し、様々な意見交換を踏まえて、ここの書き方を検討いただくのがいいかと思う。</p>	同上

番号	委員名	指摘内容	意見	回答
⑨	西森 委員	構成について	<p>構成に関わるところで、1-1と1-2を逆にした方が判りやすいという印象を持っている。先に生活排水対策推進計画について説明した上で、関連法令がありますとした方がわかりやすいと思う。</p> <p>「流総」という用語ですが、「高知県浦戸湾流域別下水道整備総合計画」を指していると思いますが、全文がでていいるところで、以下「流総」という、とすればわかりやすくなる。</p> <p>もう一つは、図の1-1ですが、生活排水対策推進計画⇨生活排水処理構想とあるが、計算記号ではわからない。説明を加えていただく必要があると思う。</p>	<p>1-2と1-1を入れ替えました。 相互矢印として図を変更しました。</p>
⑩	内田 委員	パブコメについて	<p>パブリックコメントに、この概要版と計画案両方出すのか。それならば、この概要版のところに、本文のページを書くこと併せて読みやすいと思う。また、計画案の題のところでフォントの大きさがあっていない箇所があるのでそろえるべきである。</p>	<p>計画案の方をパブリックコメントにかけます。該当箇所のフォントを変更しました。</p>
⑪	藤原 委員	全体のチェックについて	<p>令和27年度の高知市の生活排水に係る排出量を算定したと記載されているが、算定結果が書かれていない。このような点も含めて、整合がとれてない箇所が結構あるので、後ほど丁寧に確認いただきたい。</p> <p>今回の計画の最終年度は19年度までだが、流総最終年の予測も含めて示しておきたいというのであれば、参考値のような形で令和27年度の数字も表に入れたら良いかもしれないし、それがややこしいということであれば、27年度の話は削除してしまってもいいのかもしれない。全体に、わかりやすく、表と文章の整合が取れてないといった指摘もありましたが、そういった基本的な部分のチェックをお願いしたいと思う。</p>	<p>全体のレイアウトや言葉の統一及び重要な語句等の説明を直近に入れる等を実施しました。</p>

番号	委員名	指摘内容	意見	回答
追加 意見	山崎 委員	浄化槽の放流水質について	p. 39 の排出負荷量の算出で、下水 2 次処理の放流水質の記載はあるが、合併浄化槽の放流水質も必要と思われる。また、予測精度を上げるため、性能値ではなく、できるだけ実績値で算出する必要があると思われる。	参考資料で説明しています。
追加 意見	山崎 委員	類型指定と目標類型について	p. 46 の目標値について、類型指定が変わるのではなく、計画推進の目標として設定すると理解してよいでしょうか。そうであれば、類型指定と目標類型の違いを明確にしておく必要があると思います。	基準値＝目標値の表現を基準値と目標値に変更しました。 類型指定と目標類型に変更しました。(41 ページ)
追加 意見	山崎 委員	水質目標について	p. 47 の(1)水質目標の河川の文章で、現在設定されている類型を一つ上げた数値を水質目標値とされていますが、根拠が曖昧な感じがします。水質予測値に応じて設定する方が適切で(例えば、0.8→1、1.5→2 など)、説明もしやすいように思われます。	汚濁負荷量を算定し、そこから水質目標値を設定。その目標を達成するための施策という流れに変更しました。 「水質予測値より、目標値を定めた」という表現に変更しました。(35～40 ページ)